



# 長野県連婦だより

## 地域共生社会づくり

長野県連合婦人会会長 中條 智子



今年は30度以上の真夏日が長く続き、35度以上の猛暑日もあり、9月に入っても暑い日が続いています。皆様の体調はいかがでしょう。地球温暖化の影響を身近に感じもっと行動しなければと思います。

今日、人口の減少と少子高齢化が進み、AI（人工知能）などテクノロジーの急速な発達により、私たちを取り巻く社会は大きく変わりつつあります。これからの社会を展望する時、新たな地域課題に取り組むことが必要です。

それは、地域の人々が地域社会の構成員として共に生きていくために、子どもでも、高齢者でも、障がいがあっても、女性でも、男性でも、外国人であっても、誰もがお互いを尊重し合い、認め合って、自分らしく、柔軟に生活できる社会を構築することです。

私たちは、社会教育関係団体として、更に「触れ合いの絆」を高め、楽しく学び、無意識に刷り込まれている習慣等を意識して変えていくことが大切だと思います。

県連婦事業として、6月8日（木）に長野市生涯学習センターにおいて「ウイミンセミナーながの2023」を開催しました。内容は、講演2本で、(1)「共存共栄の多文化共生社会を目指して」と題して（公財）長野県国際化協会理事長のマキナリー・浩子氏、(2)「困ったら助けてと言える社会へ」と題して長野県日中友好協会理事長の大月良則氏よりお話いただきました。また、飯田市在住のシンガーソングライター矢澤彩夏さんとふれ合うこともできました。

8月6日（日）には、コロナ感染症のため、中止や延期になっておりました「平和のつどい」を、60周年記念「2023年世界をひとつに平和のつどい」として開催することができました。「平和のつどい」は、昭和38年「原水爆禁止長野県婦人大会」として開催し、平成5年8月6日の第31回大会を「世界をひとつに平和のつどい」と名称を変えてから今年で60回となりました。下伊那郡阿智村において、満蒙開拓の歴史について学び「満蒙開拓平和記念館」を見学したり、天龍浄心太鼓の力強い演奏には元気をいただいたと喜びの声です。暑い中、下伊那郡婦人会員さんには心暖かな準備をしていただき、また県下各地からご参加された会員さんの熱意により、平和への想いを深める良い機会となりました。



阿智村中央公民館

8月6日は今から78年前、広島に原子爆弾が投下された日です。広島の平和記念式典で子ども代表の「平和への誓い」の中で、差別をせず、違いを認め合い、悪口を言ったり、けんかをしたりせず、みんなが笑顔になれること、みんなの笑顔のために自分の力を使うことを宣言しています。

昨年2月にロシアによるウクライナへの侵攻が始まり、1年半が過ぎようとしています。

平和な地球を子どもたちに渡すために、平和の文化を広げ、戦争をなくすためには人間自身の価値観や行動を変えるしかないと言われます。それには、今年の県連婦のテーマである「共生社会」についてより深く学習し行動することだと思います。今年度の「ウイミンセミナー」や「平和のつどい」を参考にして、「くらしのフォーラム」地域版において地域の課題解決のため、「今」「私たちにできること」として、楽しい会の中で取り組んでいただけたらと思います。



# ウイミンセミナーながの2023

期日 令和5年6月8日(木)  
会場 長野市生涯学習センター

## 講演

### 演題「共存共栄の多文化共生社会を目指して」

講師 公益財団法人長野県国際化協会理事長 マキナリー 浩子氏

中條会長のご挨拶で、戦後女性の地位と高度経済成長で婦人の生活も大きく変わり、熟年のパワーを若い人に向け、「誰もが自分らしく生きられる共生社会」と挨拶され午前のセミナーが始まった。

講師のマキナリー浩子さんは学習塾から身を起し、インターナショナルスクール、グローバル人材紹介などの事業展開をしている。黄みがかかったグリーンの上着と白いブラウスが彼女の強い信念と、エネルギーをさわやかに包んでいた。「多文化共生社会の実現、新しい教育をライフワークとしている」ということでした。

日本には、200人に5人、長野県では、100人に2人が外国籍の方が住んでおられ、マキナリーさんのところでは、令和4年に約2000件の相談を受け、その相談内容は、入国手続きに関する事柄(700件)結婚、離婚、DV(250件)通訳翻訳の依頼、雇用、保険、医療、子供の教育がおもだそうです。

外国人が感じる大きな壁は 言語(情報弱者)・文化(伝えずに察する文化、同調圧力)・心(冷たいと感じる)3つの壁だと言う。

いま私たち出来る事、「大丈夫?」「どうしたの?」と声がけをしたい。

○「こうあるべき」という無意識な思い込みを取り払う。

○違うことに興味を持って受け入れる、ワクワクする。

○おせっかいになる(特に私たち、中年以上の女性の活躍のしどころということで)察する文化から伝える文化へ、日本語でいい、簡単でよい。

多様性社会の中で自分らしくしっかりと自信をもって、一緒に生活する人々と楽しく心豊かに生きてほしいと、お話し下さいました。

上田市 池田 佐代子



## 講演

### 演題「困ったら助けてと言える社会へ」

講師 株式会社国際社会健全育成学会専務・長野県日中友好協会理事長 大月 良則氏

「学びから実践へ」。のテーマで始まった、今年のセミナー。講演2は、大月良則さんの『困ったら助けてと言える社会へ』と題してお話でした。

冒頭「助けてー!」じゃなく「助けてと言える社会ですよ。」と念を押されました。口火は、自己紹介から、その中で私が気になった言葉が、座右の銘「飲水思源」でした。はてな?始めて耳にした言葉でしたのですぐ便利なスマホで検索。「物事の基本を忘れない。」「他人から受けた恩を忘れてはいけない。」と説明されていました。

ご自身とお母様の「ご飯食べたか?」の人の絆が強かった良き時代を回顧する中で、今起きている社会問題・孤立・孤独にふれられ、それらを加速させた要因の一つとして、行政の手がまわらなくなった事もあると行政に長く係ってこられた過去をふり返られていました。

スペシャルオリンピックス世界大会・県庁内でのワゴンカフェ等で障がい者との係りを持つた事で自身も変わられたとお話されていました。今、ブルーベリー園を障がい者と連携して一緒に活動できているのも、困っていたのは私「助けてって」声を出したのも私。そして助けてくれているのは障がい者なんです。と、うれしそうに語られていました。

大月さんのお話を聞き終わった時、大月さんの生き様が座右の銘の実践に他ならない事を実感しました。多様な方々との出会いからお仕事をつくり、日々の活動として行動し結果を残す。それが係った方々への恩返しなんだなと思いました。

支え手側・受け手側でなく、皆で支え合う地域共生社会の中で自分のできる事は何?

須坂市 小池 邦子



## 演奏

飯田市在住 シンガーソングライター 矢澤 彩夏氏



視覚障がい(全盲)自閉スペクトラム症という障害を持ちながら、人を楽しませたり喜ばせたりするのが大好きで、笑われることに生きがいと感じているという彼女。今までたくさんの人の手を借りながら生きてきた私だからこそ、今後は自分の歌を聞いてくれた人たちに勇気や元気を与え、笑顔になってもらえるようなシンガーになりたいですと語り、アンコールを含め3曲を熱唱。

# 60周年記念 2023世界をひとつに平和のつどい

期日 令和5年8月6日(日)

会場 下伊那郡 阿智村中央公民館

## 講演 演題「満蒙開拓」という歴史が語りかけてくるもの

講師 満蒙開拓記念館 事務局長 三沢 亜紀 氏

## 演奏 天龍浄心太鼓 (てんりゅうしょうじんだいこ)

「平和な地球を子供たちに渡そう」と世界平和の確立に向け、活動をつづけて来た私たちは、悲惨な歴史が綴られた、ちょうど今年10周年を迎えた満蒙開拓平和記念館のある、下伊那郡阿智村の中央公民館で開催しました。

バスから降りて来る人は皆、額に汗する酷暑に中、早朝から遠路、県南の地へお越し頂き、只々皆さまに感謝でした。

今年の春、開館10周年を迎えた満蒙開拓平和記念館では、昨年、記念イベントとして、短歌の募集がされました。全国の小学生から、90歳代までの179名386首の応募がありました。その中の、哀しみが心に広がる一首

「塩鮭の木箱に入れし妹の 亡骸凍土に埋められもせず」

これは今回「満蒙開拓が語りかけてくるもの」と題してご講演を頂いた、満蒙開拓平和記念館事務局長 三沢亜紀氏の詠われたもの。

広島県生まれの三沢氏は、「青い空は 青いままで子どもらに伝えたい♪」と会場の方々と、「青い空は」を歌われ、その歌声に浄化されていく思いでした。

広島の悲惨な歴史とは異なり、国策に翻弄され、被害者と加害者が複雑に交差する満蒙開拓の人々の歴史は、長く黙することではしか生きる術がなかった。


その悲惨な歴史を語るとき、子供たちには多くの「なぜ」が生まれ、その不条理を考える力が、社会を創る力になると、若い人に平和な未来を託しました。

続いて、天龍村平岡ダムの捕虜及び中国や韓国の強制労働者殉職者への鎮魂歌「瞬き」を、天龍村浄心太鼓の皆さんが演奏。他3曲渾身の連打!!!に、平和への願いが世界に届け♪とシンクロして全身を貫いていきました。



南信州新聞が取材に来られました

副会長・下伊那郡 平松和子

**加入電話・INSネットの「固定電話」をご利用のお客さま**  **NTT東日本**

2024年1月1日以降、電話を提供するNTT東日本の局内設備を切替いたします。**設備切替後も、お手続き不要で、「固定電話(通話)」およびお客さまがご利用中の電話機などはお使いいただけますので、ご安心ください。**

**「固定電話の設備切替」等に便乗した虚偽の情報に基づく悪質な販売行為にご注意ください。**

お客さま宅内の電話機の交換や回線の切替工事は必要ありません。

NTT東日本 問い合わせセンター **0120-815-511** ※携帯電話からもご利用いただけます。※電話番号のおかけ間違いが大変多くなっております。おかけいただく際には十分にご注意くださいますようお願い申し上げます。  
 [受付時間]午前9時～午後5時 ※年末年始(12/29～1/3)を除きます。 2023年7月時点の情報です。K23-01566(2307-2407)

**当店は安心です** 

選んで安心なSマーク【標準営業約款制度】

Sマークのお店は、「安全・安心・清潔」をお約束する営業に努めています。

毎年11月は約款普及登録の促進月間です。

あなたのお店も[Sマーク]に登録しませんか!

～公益財団法人 長野県生活衛生営業指導センター～  
 TEL 026-235-3612 Email naganocenter@sei.or.jp

# くらしのフォーラム2023 地域版

**開催内容** ウィミンセミナーで学んだ「共生社会」の中で、異文化・障害・高齢者・ジェンダー・地域・子供など様々な共生について、それぞれの地域で必要と考えられる共生について話し合ったり、講師を招いたりして学習する。

**開催期間** 令和5年6月～12月の間

**開催場所** 各郡市または地域（いくつかの郡市での共催可能）

※開催の有無、内容については各郡市にお任せします。

ほほまい  
歯舞早煮昆布のご愛用  
全国女性会の活動資金源



## 皆さまが支えています

歯舞早煮昆布は、全国女性団体連絡協議会が北方領土返還運動の一環として、北方領土で採れた貝殻島産棹前昆布を歯舞漁協で袋詰めしたものを、全国女性団体連絡協議会公認昆布として取扱いしております。

## <歯舞商品>

会員の皆様はじめ多くの方々にご愛用頂いてます歯舞早煮昆布他が、令和5年2月より何十年ぶり？かに値上げされましたが、今もなお沢山のご注文を頂いておりありがとうございます。引き続き宜しくお願い致します。

また、昆布しょうゆ類の値上がりは、今回はございません。

10月は、特価月ですので3箱以上でのご注文を宜しくお願い致します。

## 令和5年度 長野県連合婦人会事業計画

月	日(曜日)	事業内容
R5 5月	9(火)	定時総会
6月	8(木)	ウィミンセミナーながの2023 長野市生涯学習センター
6月～ 12月		くらしのフォーラム2023 地域版 (6月～12月の間)
8月	6(日)	2023年世界をひとつに平和のつどい 下伊那郡阿智村中央公民館
10月	23(月)	信州婦人健康のつどい ANC アリーナ(安曇野市総合体育館)
R6 1月	月末	県教育長との懇談会 長野県庁会議室予定
3月		改選選挙

※9/14(木) …………… 全女会関東ブロック会議

東京都 テクノプラザかつしか

※11/21(火)～22(水)…… 全女会全国大会 神奈川県横浜市  
パシフィコ横浜・県民ホール



役員・郡市会長の皆さん (R5.3.9撮影)

## 令和5年度 一般社団法人長野県連婦役員・郡市会長

下伊那郡	諏訪郡	岡谷市	北佐久郡	佐久市	上田市	千曲市	上水内郡	須坂市	郡市会長	監事	副会長	県連婦役員
寺田	武居	瀧澤	今井	奥村	池田	鎌田	北田	竹前	小宮	奥村	平松	中條
眞由美	洋子	幸子	正子	繁子	佐代	恵子	兎子	美枝子	一子	ケイ子	繁子	和智子

## ときめきを感動へ

心から喜んでいただける旅をお届けします

日帰りから海外旅行まで、  
募集ツアーも取り揃えています。  
資料請求はお気軽にどうぞ。

観光庁長官登録旅行業第669号 日本旅行業協会正会員 県連婦推薦業者

**アルピコ長野トラベル** フリーダイヤル **0120-24-5522**

本社：長野市中御所 5-3-1 ☎026-228-8611

お申込みには婦人名をお伝えください

松本：松本市深志 1-2-30 松本バスターミナル1階 ☎0263-87-2240